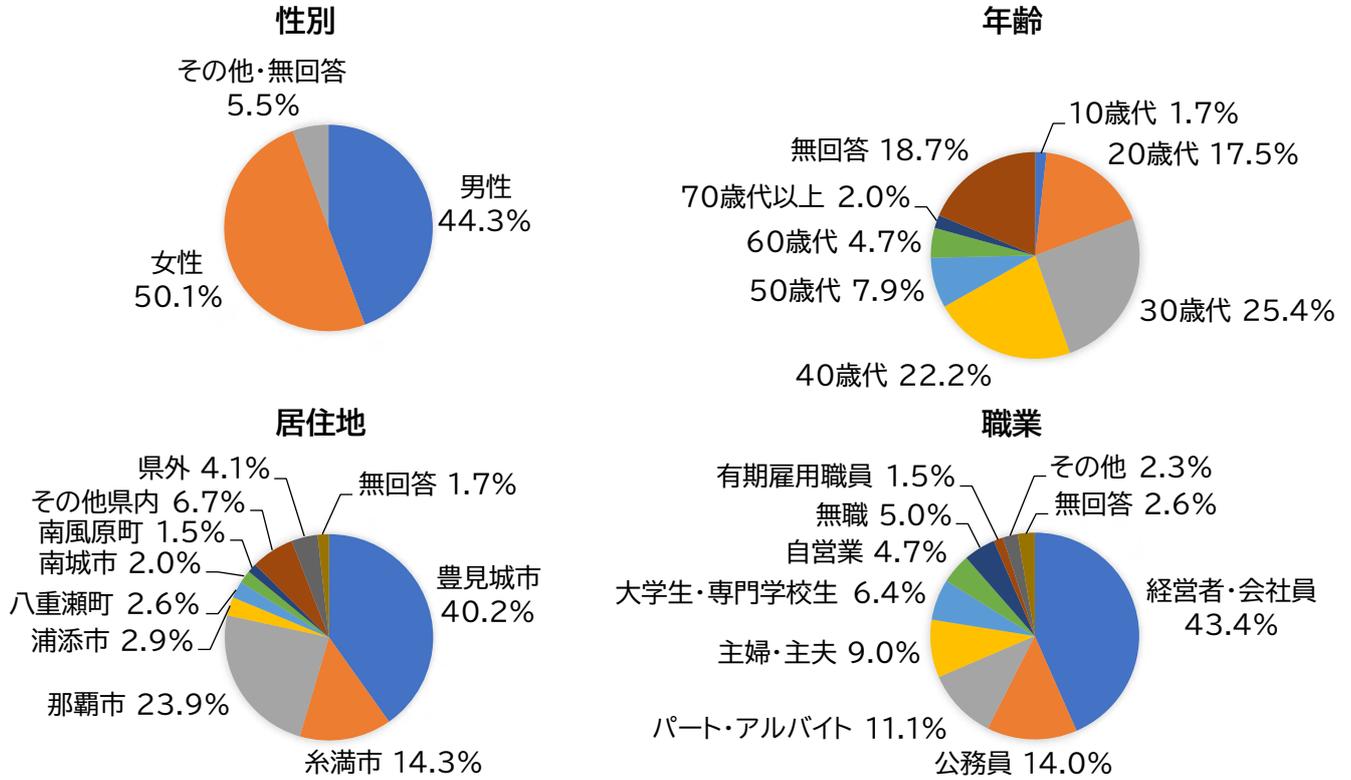


パーク&ライド駐車場のニーズ調査結果(概要)

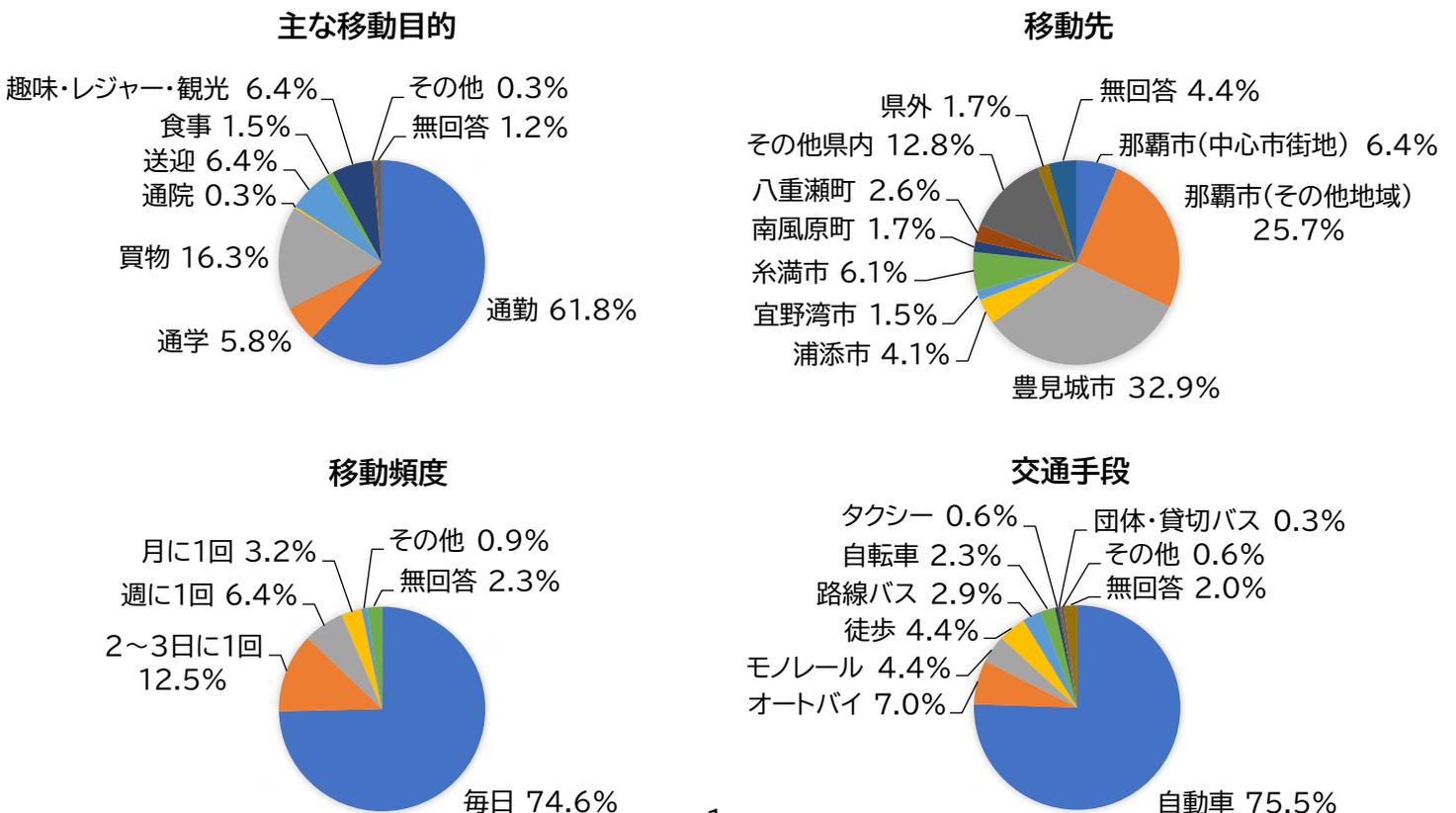
1. 実施方法

11月11日(土)、12日(日)に開催された“とみぐすく祭り会場”にて対面方式のアンケート調査を実施した。調査票(紙面)及びWEB回答を用いてアンケートを実施し、343件を回収した。

2. 回答者の属性



3. 移動の現状



4. 移動の印象

移動に際し感じていること

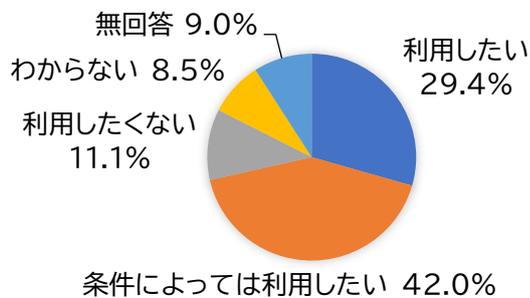
性別	人数	比率
渋滞で移動に時間がかかる	213	62.1%
駐車場・ガソリン代が高い	198	57.7%
運転が危険と感じている	33	9.6%

渋滞の印象

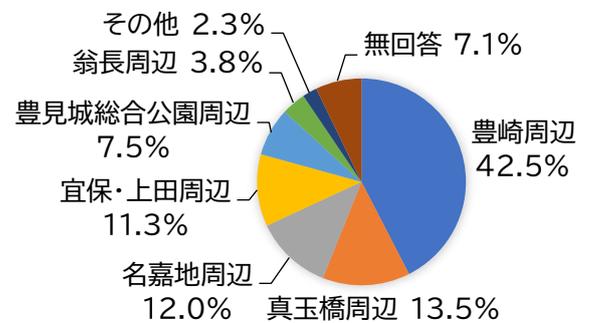
性別	人数	比率
移動に時間がかかり疲れた・行くのが嫌になった	208	60.6%
渋滞に巻き込まれないように時間をずらしている	153	44.6%
自動車の運転で危険なことがあった	74	21.6%

5. パーク&ライドの利用意向・要望

P&R利用意向



P&R希望位置



バス利用拡大の取り組み

項目	人数	比率
バスの本数を増やす	90	26.2%
定時性・定速性を高める	66	19.2%
バスの運行情報の提供	30	8.7%
利用料金を安価にする	30	8.7%
バスに関する情報提供	23	6.7%

6. 主な自由意見

性別	年齢	居住地	意見の内容
■路線バスの改善等に関する意見			
男性	50 歳代	糸満市	・ バスが定刻に運行しない。
女性	40 歳代	糸満市	・ バスの位置情報を明確に示してほしい。
女性	40 歳代	豊見城市	・ 公共交通機関が少なく、実質日常で使えるようなものではない。
女性	40 歳代	南風原町	・ 路線バスは座れないため、体力的にきつい。シートを工夫してほしい。
■モノレールの延伸に関する意見			
男性	40 歳代	豊見城市	・ モノレールの延伸を希望します。
■その他の意見			
男性	40 歳代	南風原町	・ ライドシェアの目的をしっかりと説明するべき。説明が足りない。

参考:パーク&ライド駐車場のニーズ調査結果

1 実施方法

11月11日(土)、11月12日(日)に開催された“とみぐすく祭り会場”にて対面方式のアンケート調査を実施した。

調査員がイベント参加者にアンケートへの協力をお願いし、調査票(紙面)及びWEB回答を用いてアンケートを実施し、最終的に343件の協力を得ることができた。



アンケート調査の実施状況(上2枚とも)

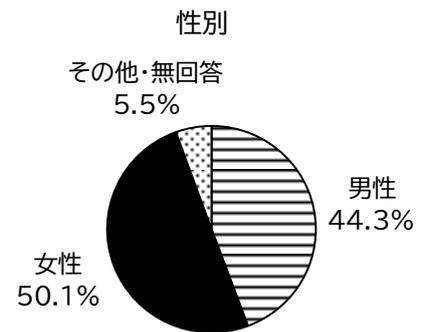
2. 調査結果

(1)回答者の属性

1)性別

アンケート調査の回答者の属性について、性別は「男性」44.3%、「女性」50.1%、「その他・無回答」が5.5%という結果であった。

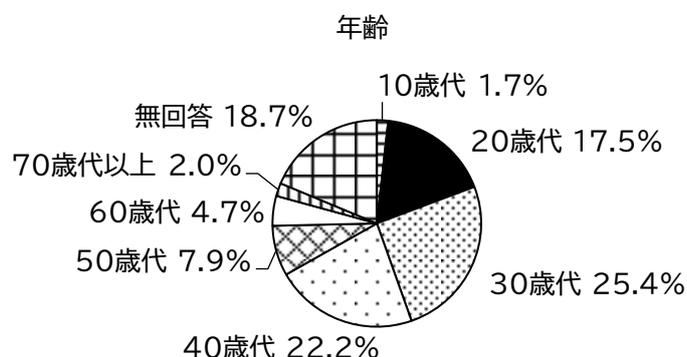
性別	n=343	
項目	人数	比率
男性	152	44.3%
女性	172	50.1%
その他・無回答	19	5.5%
計	343	100.0%



2)年齢

年齢については、「30 歳代」が最も多く 25.4%、次いで「40 歳代」22.2%、「20 歳代」17.5%、「50 歳代」7.9%、「60 歳代」4.7%、「70 歳代」2.0%、「10 歳代」1.7%と続いている。また、「無回答」が 18.7%であった。

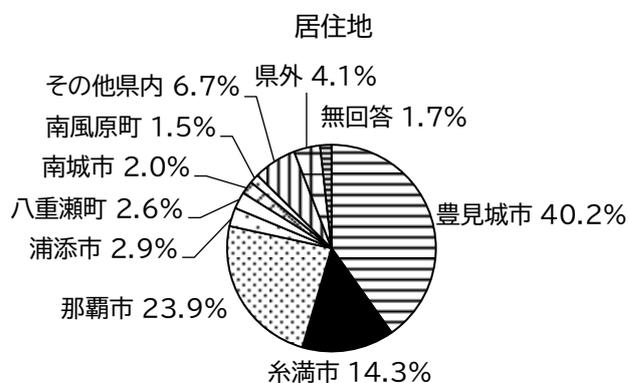
年齢		n=343	
項目	人数	比率	
10歳代	6	1.7%	
20歳代	60	17.5%	
30歳代	87	25.4%	
40歳代	76	22.2%	
50歳代	27	7.9%	
60歳代	16	4.7%	
70歳代以上	7	2.0%	
無回答	64	18.7%	
計	343	100.0%	



3)居住地

回答者の居住地については、「豊見城市」が最も多く 40.2%であり、次いで「那覇市」23.9%、「糸満市」14.3%と続いている。他に「浦添市」、「八重瀬町」、「南城市」、「南風原町」、「その他県内」、「県外」の人からアンケートの協力を得た。

居住地		n=343	
項目	人数	比率	
豊見城市	138	40.2%	
糸満市	49	14.3%	
那覇市	82	23.9%	
浦添市	10	2.9%	
八重瀬町	9	2.6%	
南城市	7	2.0%	
南風原町	5	1.5%	
その他県内	23	6.7%	
県外	14	4.1%	
無回答	6	1.7%	
計	343	100.0%	



①豊見城市内の地域区分別回答者数

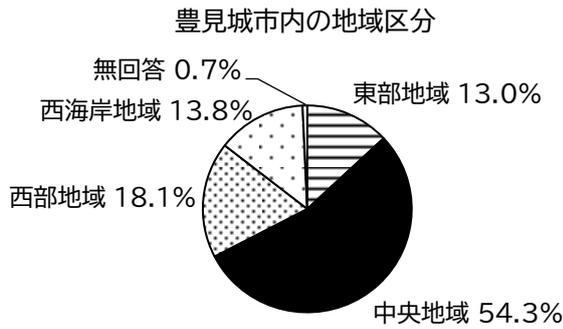
上記の中で、豊見城市に居住している回答した人の居住地について、地区別の回答者数は「中央地域」が 54.3%、「西部地域」が 18.1%、「西海岸地域」が 13.8%、「東部地域」が 13.0%となっている。

地域区分別回答者数 n=138

項目	人数	比率
東部地域	18	13.0%
中央地域	75	54.3%
西部地域	25	18.1%
西海岸地域	19	13.8%
無回答	1	0.7%
計	138	100.0%



豊見城市地域区分図 出典:豊見城市都市マスタープラン(H29)

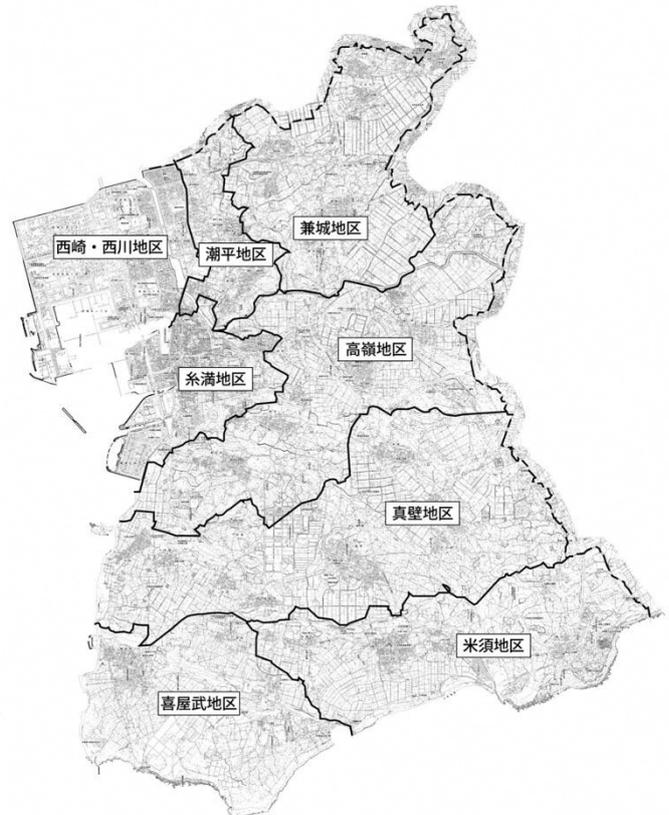


②糸満市内の地域区分別回答者数

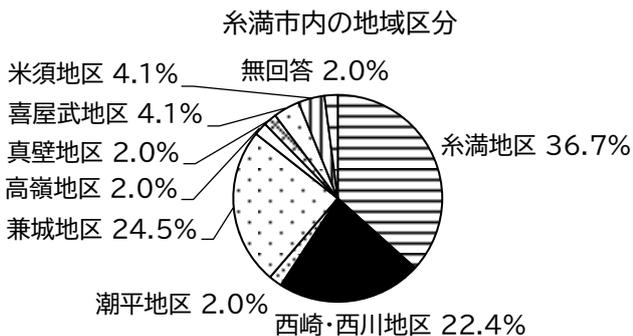
糸満市に居住している人の地域区分は、「糸満地区」が 36.7%、「西崎・西川地区」が 22.4%、「兼城地区」が 24.5%であった。

糸満市の地域区分別回答者数 n=49

項目	人数	比率
糸満地区	18	36.7%
西崎・西川地区	11	22.4%
潮平地区	1	2.0%
兼城地区	12	24.5%
高嶺地区	1	2.0%
真壁地区	1	2.0%
喜屋武地区	2	4.1%
米須地区	2	4.1%
無回答	1	2.0%
計	49	100.0%



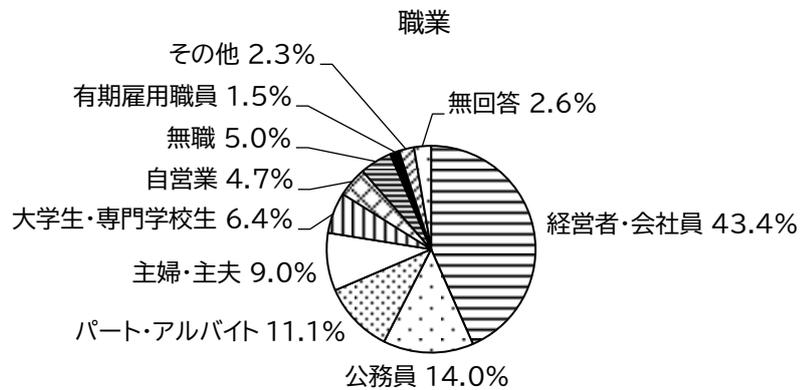
糸満市地域区分図 出典:糸満市都市マスタープラン(H30)



4)職業

回答者の職業について、「経営者・会社員」が最も多く 43.4%、次いで「公務員」14.0%、「パート・アルバイト」が 11.1%、「主婦・主夫」が 9.0%と続いている。

項目	人数	比率
経営者・会社員	149	43.4%
公務員	48	14.0%
パート・アルバイト	38	11.1%
主婦・主夫	31	9.0%
大学生・専門学校生	22	6.4%
自営業	16	4.7%
無職	17	5.0%
有期雇用職員	5	1.5%
その他	8	2.3%
無回答	9	2.6%
計	343	100.0%

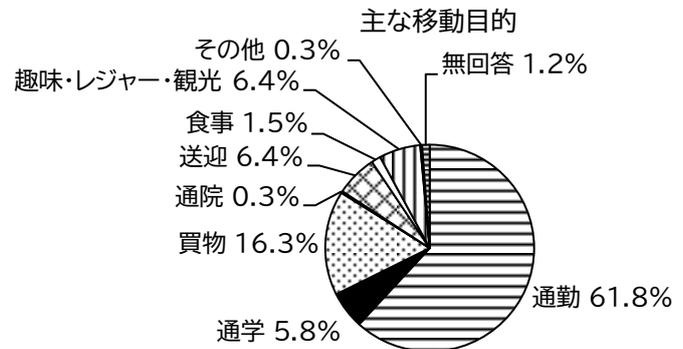


(2)移動の現状

1)主な移動目的

主な移動の目的について、「通勤」が最も多く 61.8%、次いで「買物」が 16.3%、「送迎」が 6.4%、「趣味・レジャー・観光」が 6.4%と続いている。

項目	人数	比率
通勤	212	61.8%
通学	20	5.8%
買物	56	16.3%
通院	1	0.3%
送迎	22	6.4%
食事	5	1.5%
趣味・レジャー・観光	22	6.4%
その他	1	0.3%
無回答	4	1.2%
計	343	100.0%

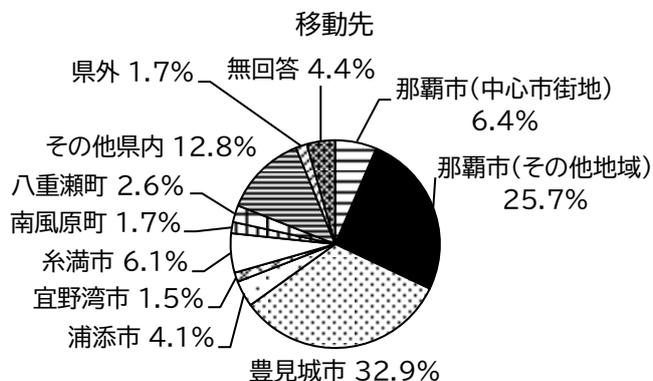


2)移動先

主な移動の目的地については、「豊見城市内」が最も多く 34.5%、次いで「那覇市(その他地域)」が 26.8%、「那覇市(中心市街地)」が 6.7%、「糸満市」が 6.4%と続いている。

※那覇市中心市街地とは、那覇バスターミナルからの移動や都市機能の集積状況等を勘案し、便宜的に「旭町」「泉崎」「久米」「久茂地」「泊」「西」「前島」「牧志」「松山」と設定した。(以降、中心市街地の定義は同様である。)

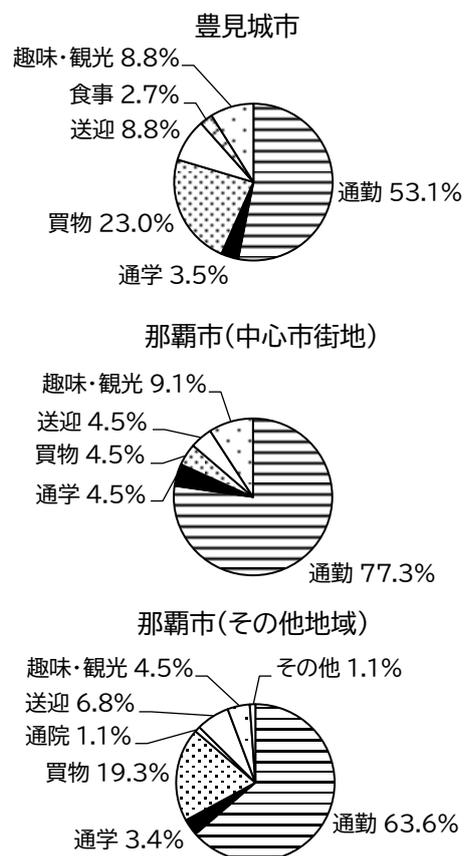
項目	人数	比率
那覇市(中心市街地)	22	6.4%
那覇市(その他地域)	88	25.7%
豊見城市	113	32.9%
浦添市	14	4.1%
宜野湾市	5	1.5%
糸満市	21	6.1%
南風原町	6	1.7%
八重瀬町	9	2.6%
その他県内	44	12.8%
県外	6	1.7%
無回答	15	4.4%
計	343	100.0%



①豊見城市・那覇市(中心市街地・その他地域)に移動する人の目的

上記の中で、「豊見城市」に移動する人 113 人、「那覇市(中心市街地)」に移動する人 22 人、「那覇市(その他地域)」に移動する人 88 人に対し、その目的を分析したものが下表・下図であり、「豊見城市」に移動する人よりも「那覇市」に移動する人の方が「通勤」目的が多くなり、特に「那覇市(中心市街地)」は「通勤」目的が 77.3%と特に多くなっている。

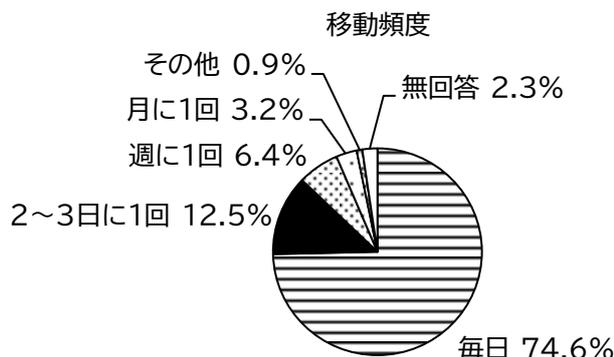
項目	豊見城市	那覇市(中心市街地)	那覇市(その他地域)
通勤	60 53%	17 77%	56 64%
通学	4 4%	1 5%	3 3%
買物	26 23%	1 5%	17 19%
通院	0 0%	0 0%	1 1%
送迎	10 9%	1 5%	6 7%
食事	3 3%	0 0%	0 0%
趣味・観光	10 9%	2 9%	4 5%
その他	0 0%	0 0%	1 1%
計	113 100%	22 100%	88 100%



3)移動頻度

移動の頻度について、「毎日」との回答が全体の74.6%、「2～3日1回」が12.5%となっており、全体の9割は比較的移動頻度が高いと考えられる。

項目	人数	比率
毎日	256	74.6%
2～3日に1回	43	12.5%
週に1回	22	6.4%
月に1回	11	3.2%
その他	3	0.9%
無回答	8	2.3%
計	343	100.0%



①移動目的別移動頻度

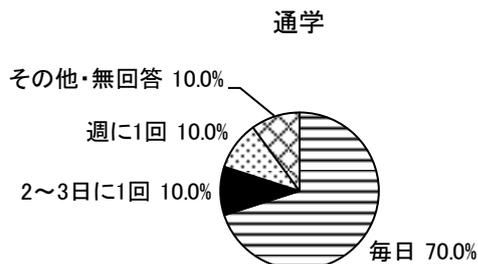
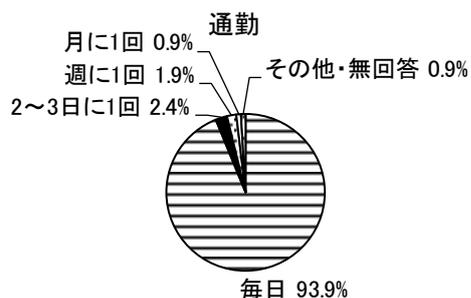
移動目的ごとに移動頻度を分析したものが、下表・下図であり、「通勤」で移動する人の93.9%が「毎日」と回答している。また、「通学」「送迎」についても「毎日」移動するという回答が7～8割と移動頻度が高いことが理解できる。

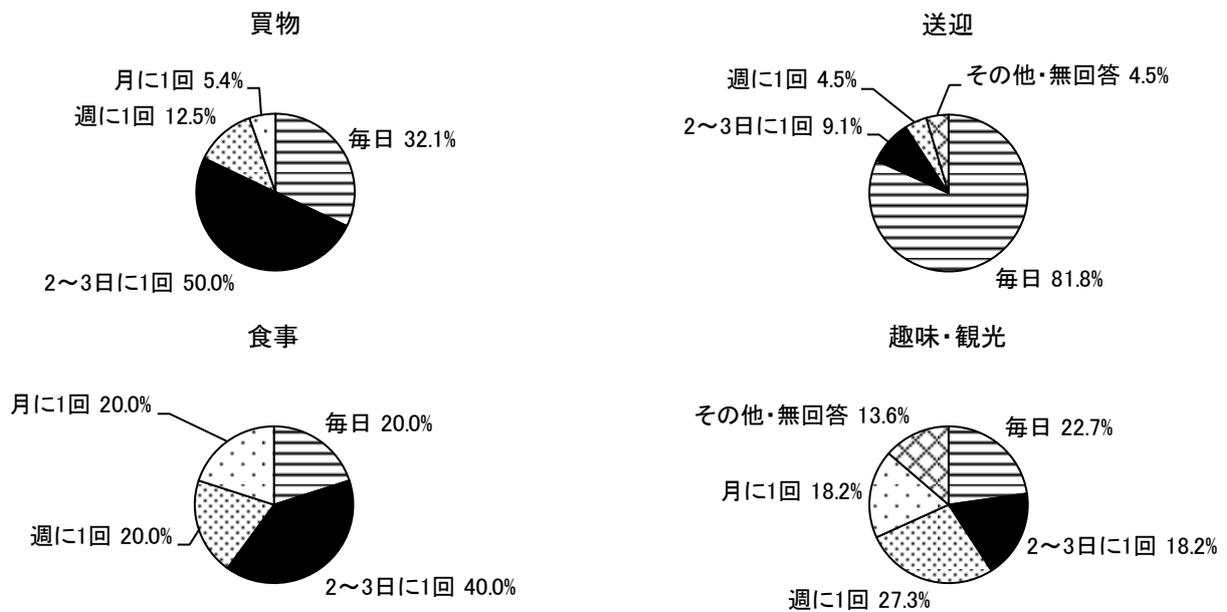
一方、「買物」や「食事」目的の人は、移動頻度が「2～3日に1回」「週に1回」など、利用頻度が低い傾向があった。

移動頻度(目的別クロス)

n=338

項目	毎日	2～3日に1回	週に1回	月に1回	その他・無回答	計
通勤	199 93.9%	5 2.4%	4 1.9%	2 0.9%	2 0.9%	212 100%
通学	14 70.0%	2 10.0%	2 10.0%	0 0.0%	2 10.0%	20 100%
買物	18 32.1%	28 50.0%	7 12.5%	3 5.4%	0 0.0%	56 100%
通院	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
送迎	18 81.8%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	22 100%
食事	1 20.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 20.0%	0 0.0%	5 100%
趣味・観光	5 22.7%	4 18.2%	6 27.3%	4 18.2%	3 13.6%	22 100%
計	255	43	22	10	8	338



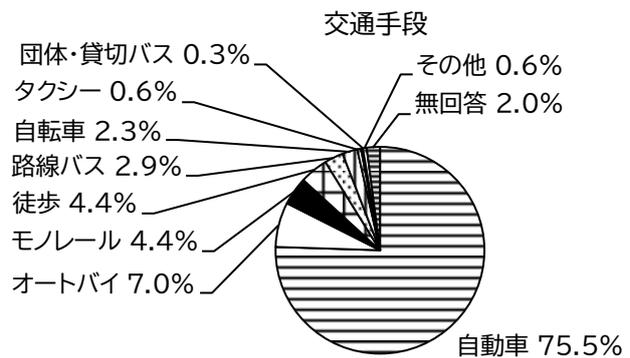


4) 交通手段

移動の際に利用する交通手段について、「自動車」が全体の75.5%を占めており、次いで「オートバイ」が7.0%と両者の合計は8割を超えている。

一方、「モノレール」は4.4%、「路線バス」はさらに低く2.9%にとどまっており、公共交通の利用が低い傾向にある。

交通手段	人数	比率
自動車	259	75.5%
オートバイ	24	7.0%
モノレール	15	4.4%
徒歩	15	4.4%
路線バス	10	2.9%
自転車	8	2.3%
タクシー	2	0.6%
団体・貸切バス	1	0.3%
その他	2	0.6%
無回答	7	2.0%
計	343	100.0%



※その他の内容は「キックボード」「電車」等。

① 目的地別交通手段

沖縄本島の特に那覇市(中心市街地)は、都市機能が集積し多くの人を訪れていることや路線バスや沖縄都市モノレール等の公共交通の利便性が高いなど、県内他所と比較して異なった条件にあると考えられる。

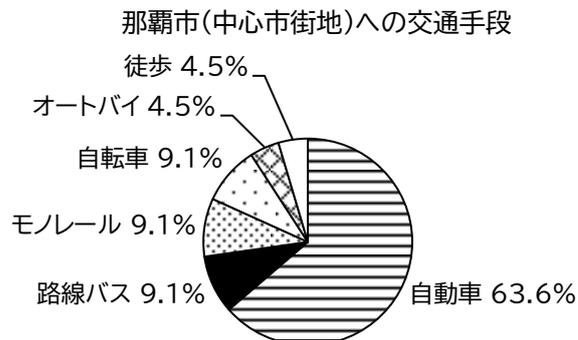
一方、多くの人利用が集中するため、慢性的な渋滞を引き起こし、那覇市の渋滞が豊見城市を含む近隣市町村に流出し、渋滞の原因となっていることも想定されることから、特に詳細に分析する必要があると想定され、移動実態に関して地域別のクロス集計を実施した。

《那覇市(中心市街地)に移動する人の交通手段》

「那覇市(中心市街地)」に移動する人の交通手段は、「自動車」が 63.6%と最も多く、次いで「路線バス」が 9.1%、「モノレール」が 9.1%と続いている。

那覇市(中心市街地)交通手段 n=22

項目	人数	比率
自動車	14	63.6%
路線バス	2	9.1%
モノレール	2	9.1%
自転車	2	9.1%
オートバイ	1	4.5%
徒歩	1	4.5%
計	22	100.0%

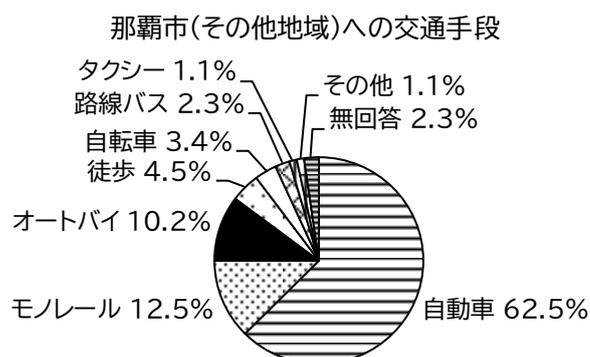


《那覇市(その他地域)に移動する人の交通手段》

「那覇市(その他地域)」に移動する人の交通手段は「自動車」が 62.5%と最も多く、次いで「モノレール」12.5%、「オートバイ」9.1%と続いている。

那覇市(その他地域)交通手段 n=88

項目	人数	比率
自動車	55	62.5%
モノレール	11	12.5%
オートバイ	9	10.2%
徒歩	4	4.5%
自転車	3	3.4%
路線バス	2	2.3%
タクシー	1	1.1%
その他	1	1.1%
無回答	2	2.3%
計	88	100.0%



《那覇市(中心市街地・その他地域)に移動する人の移動特性に関する考察》

クロス集計の結果、「那覇市(中心市街地)」に移動する人の交通手段は、全体と比較して「路線バス」や「モノレール」の利用が多く、ともに 9%程度の利用率となっている。逆に「自動車」の利用率は全体よりも 10ポイントほど下がっているが、それでも 63.6%と過半を超える状況にある。

これが「那覇市(その他地域)」の場合、「自動車」の利用率は 62.5%と同程度に低いが、「オートバイ」が 10.2%、「モノレール」が 12.5%と両者の利用率が高まっている。

一方、「路線バス」については、2.3%と、全体平均と大きく変わらない状況である。これはバス路線の利便性が「那覇市(中心市街地)」ほど充実していないことが原因と考えられるほか、渋滞であったり、高価な駐車場代等、利用者に「路線バス」の選択を促すほどの選択圧がかかっていないことも理由として挙げられると推察される。

5)主な移動の費用と負担者

交通手段を選択するうえで、移動にかかる費用や負担者などの金銭面での条件は大きな意識づけになると考えられ、交通手段と費用負担等の条件を分析した。

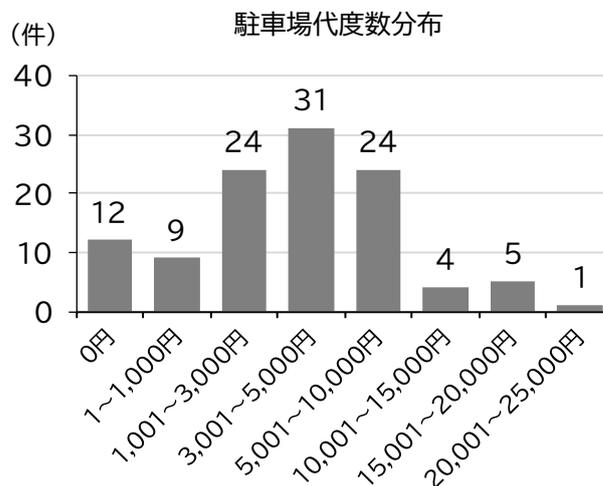
①駐車場代

駐車場を利用する人の利用金額は、最高額 25,000 円、最低額 0 円、平均額 5,185 円、中央値 4,700 円、最頻値 5,000 円であり、度数分布では 3,000～5,000 円台の回答が集中している。

また、その負担者については、「個人負担」が 71.8%と最も多く、「会社負担」は 28.2%にとどまっている。

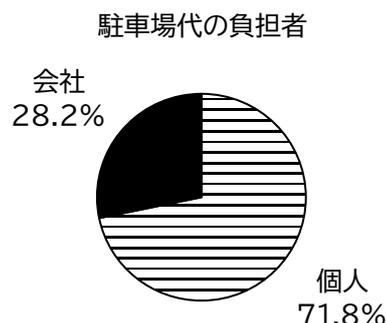
駐車場代 n=283

項目	金額
最高額	25,000
最低額	0
平均額	5,185
中央値	4,700
最頻値	5,000



駐車場代の負担者 n=283

項目	人数	比率
個人	61	71.8%
会社	24	28.2%
計	85	100.0%



②ガソリン代

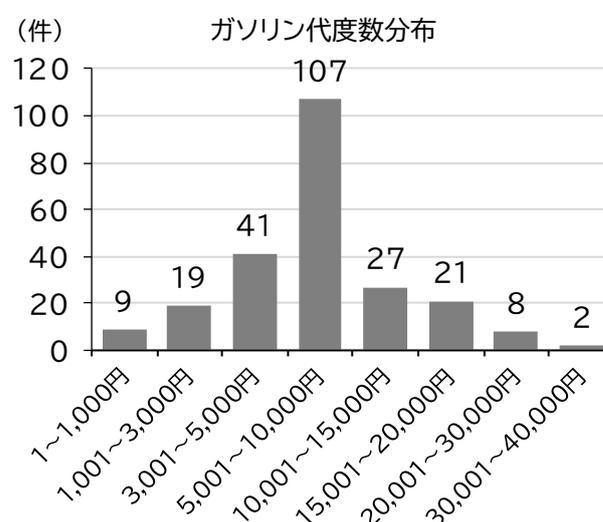
ガソリン代については、最高額 50,000 円、最低額 100 円、平均額 9,880 円、中央値 9,000 円、最頻値 10,000 円となっている。実際にガソリン代の度数分布においては 5,001～10,000 円の回答が特に多い。

また、負担者についても駐車場代と同様に「個人負担」が 78.9%、「会社負担」が 20.4%である。

さらに「その他」の内容は「団体の負担」や「会社と個人が分担して負担」などの回答が挙げられている。

ガソリン代 n=283

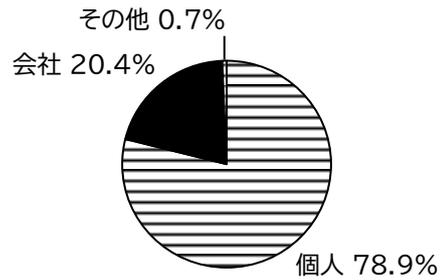
項目	金額
最高額	50,000
最低額	100
平均額	9,880
中央値	9,000
最頻値	10,000



ガソリン代の負担者 n=283

項目	人数	比率
個人	116	78.9%
会社	30	20.4%
その他	1	0.7%
計	147	100.0%

ガソリン代の負担者



《那覇市(中心市街地)に移動する人の駐車場代》

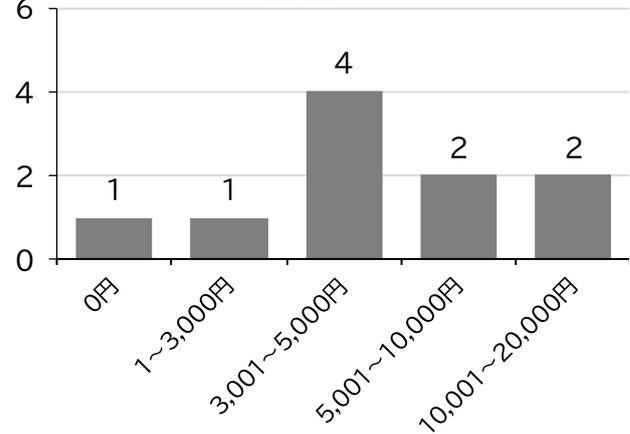
那覇市(中心市街地)に移動する人のうち、「自動車」「オートバイ」と回答した15名の回答を抽出した結果、駐車場代は最高額 20,000 円、最低額 0 円、平均額 7,260 円、中央値 5,000 円という結果になり、平均額が全体を上回っている。

那覇市(中心市街地)駐車場代

n=15

項目	金額
最高額	20,000
最低額	0
平均額	7,260
中央値	5,000

那覇市(中心市街地)駐車場代
度数分布



《那覇市(中心市街地)に移動する人のガソリン代》

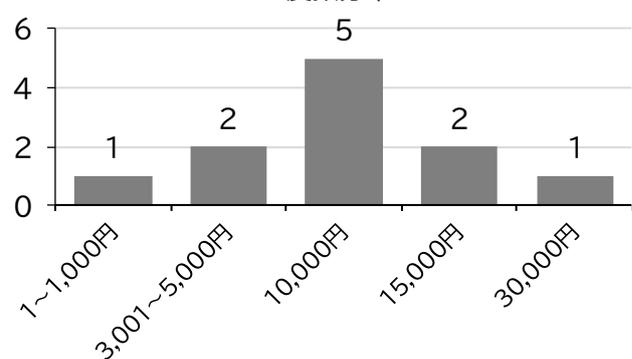
那覇市(中心市街地)に移動する人のガソリン代は、最高額 30,000 円、最低額 100 円、平均額 10,782 円、中央値 10,000 円と平均額、中央値共が全体値よりやや高い結果となった。

那覇市(中心市街地)ガソリン代

n=15

項目	金額
最高額	30,000
最低額	100
平均額	10,782
中央値	10,000

那覇市(中心市街地)ガソリン代
度数分布



《那覇市(中心市街地)に移動する人の駐車場代+ガソリン代》

沖縄本島内において那覇市(中心市街地)は、都市機能が集積しているため人の往来が多く、慢性的な渋滞が発生しており、その影響が豊見城市の渋滞にも影響を与えていると考えられる。このため、自動車から公共交通への移行を促すなどの対策が有効であると想定される。

その際に新たに負担する料金が現在負担している駐車場+ガソリン代を下回っているあるいは大差ないことが一つの指標になるという推測があり、その料金を算出した。

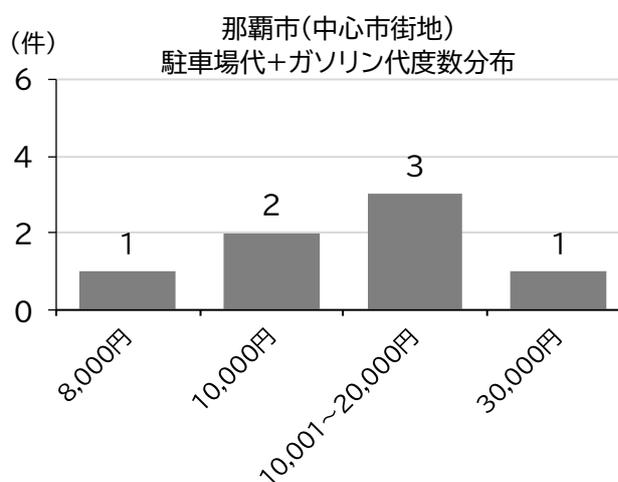
算出においては、「駐車場代」「ガソリン代」双方が回答されているものを対象にその合計額を算出しており、対象者は7件であった。

結果として、平均額は 15,286 円であり、度数分布においても 10,000～20,000 円の回答が多かった。

これが新たな施策を検討するうえでの一つの目安になると想定される。

那覇市(中心市街地)
駐車場代+ガソリン代
n=7

項目	金額
最高額	30,000
最低額	8,000
平均額	15,286

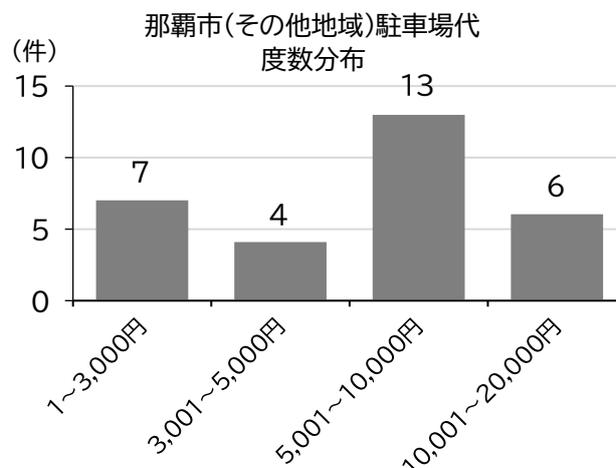


《那覇市(その他地域)に移動する人の駐車場代》

那覇市(その他地域)に移動する人の駐車場代は最高額 20,000 円、最低額 1,000 円、平均額 7,583 円、中央値 8,000 円という結果となっている。

那覇市(その他地域)駐車場代
n=64

項目	金額
最高額	20,000
最低額	1,000
平均額	7,583
中央値	8,000

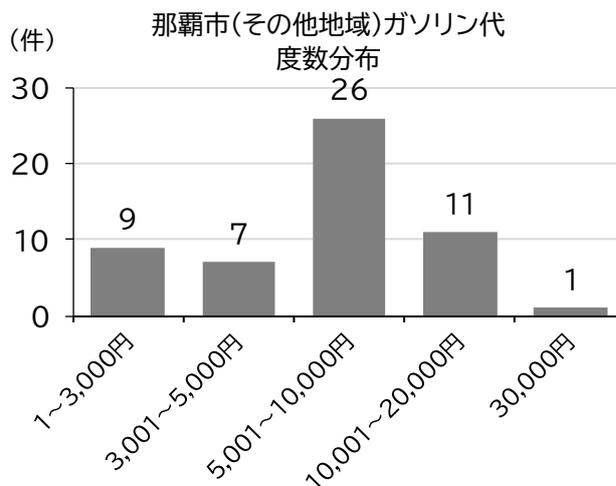


《那覇市(その他地域)に移動する人のガソリン代》

那覇市(その他地域)に移動する人のうち、「自動車」「オートバイ」と回答した 64 名の回答を抽出した結果、ガソリン代は最高額 30,000 円、最低額 100 円、平均額 8,863 円、中央値 8,000 円という結果となり、度数分布では 5,001~10,000 円という回答が多かった。

那覇市(その他地域)ガソリン代
n=64

項目	金額
最高額	30,000
最低額	100
平均額	8,863
中央値	8,000



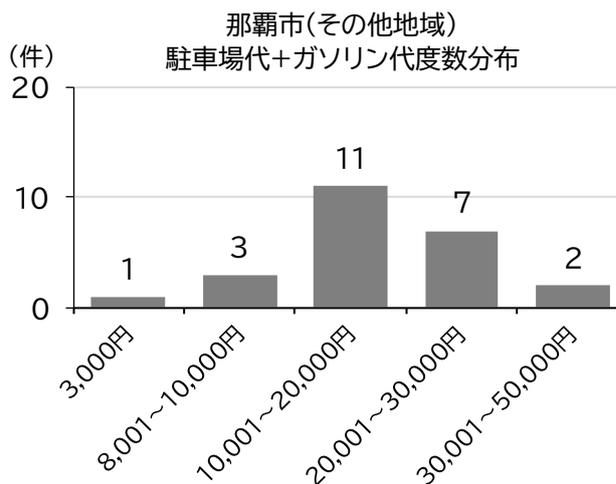
《那覇市(その他地域)に移動する人の駐車場代+ガソリン代》

那覇市(全域)に移動する人の駐車場+ガソリン代の負担状況は、最高額が 41,000 円、最低額が 3,000 円、平均額が 18,792 円となっている。

度数分布においては 10,001~20,000 円の回答が多い結果となっている。

那覇市(その他地域)
駐車場代+ガソリン代
n=24

項目	金額
最高額	41,000
最低額	3,000
平均額	18,792



③運賃

「路線バス」や「モノレール」等、公共交通の運賃負担額は、最高額が 13,000 円、最低額が 700 円、平均額 8,519 円、中央値・最頻値はともに 10,000 円となっている。

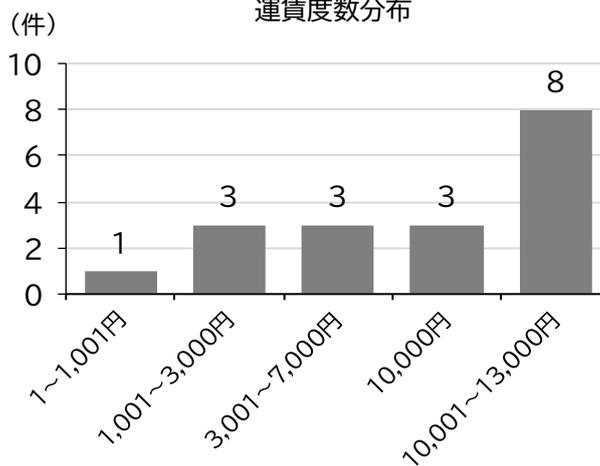
なお、回答には買い物など、頻度の低い移動も含まれており、移動頻度の低い人は月額も低い結果となっている。

一方、「個人」と「会社」の負担上については、「個人」の負担が 41.2%、「会社」の負担が 58.8%と自動車移動と比較すると会社負担の方が高い結果となっている。(次ページ参照)

運賃 n=25

項目	金額
最高額	13,000
最低額	700
平均額	8,519
中央値	10,000
最頻値	10,000

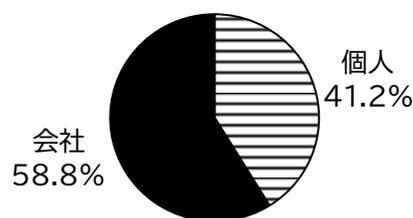
運賃度数分布



運賃の負担状況 n=25

項目	人数	比率
個人	7	41.2%
会社	10	58.8%
計	17	100.0%

運賃の負担者



《那覇市(中心市街地)に移動する人の運賃》

那覇市(中心市街地)に移動する人のうち、移動手段を「路線バス」「モノレール」と回答した4名の回答抽出した結果、運賃は、最高額13,000円、最低額10,000円、平均値11,400円となっている。

那覇市(中心市街地)運賃 n=4

項目	金額
最高額	13,000
最低額	10,000
平均額	11,400

那覇市(中心市街地)運賃 n=4

内容	金額
路線バス運賃	10,000
	13,000
モノレール運賃	10,000
	12,600

《那覇市(その他地域)に移動する人の路線バス運賃》

那覇市(その他地域)に移動する人のうち、「路線バス」と回答した人は2名であり、その金額は1名が12,000円、もう1名が3,000円であった。平均値は7,500円である。

那覇市(その他地域)路線バス運賃 n=2

項目	金額
最高額	12,000
最低額	3,000
平均額	7,500

那覇市(その他地域)路線バス運賃 n=2

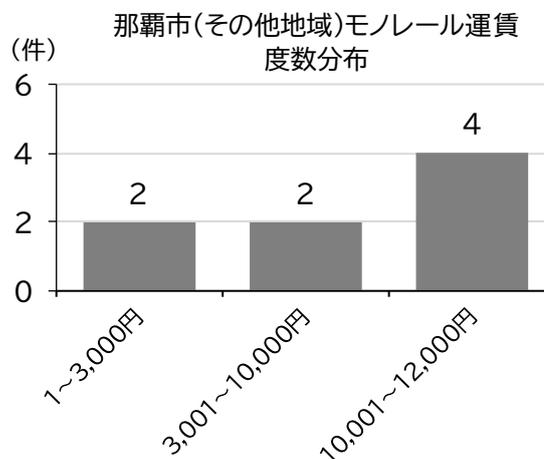
内容	金額
路線バス運賃	12,000
	3,000

《那覇市(その他地域)に移動する人のモノレール運賃》

那覇市(その他地域)に移動する人うち、移動手段を「モノレール」と回答した人は 11 名であり、その結果を抽出したところ、8 名が具体的な金額を回答しており、モノレール運賃の最高額は 12,600 円、最低額は 1,080 円、平均額は 7,855 円、中央値は 8,900 円であった。

那覇市(その他地域)モノレール運賃
n=11

項目	金額
最高額	12,000
最低額	1,080
平均額	7,855
中央値	8,900



④その他費用

移動費用について、「駐車場代」「ガソリン代」「運賃」以外にも負担せざるを得ない費用が存在している可能性があり、その有無・内容を確認するため、「その他費用」に関する設問を設けた。

その結果、2 件の回答があり、1 件は「諸経費」を 10,000 円負担しているという回答があり、もう 1 名は、負担額が 5,000 円、用途や負担者等の内容は「無回答」であった。

その他費用 n=2

項目	金額
最高額	10,000
最低額	5,000
平均額	7,500
中央値	7,500

その他費用の内容 n=2

内容	金額	負担者
諸経費	10,000	個人
無回答	5,000	無回答

(3)移動に関する印象

1)移動に関する印象(複数回答 2 つまで)

沖縄県内の主な移動に関して感じていることについては「渋滞で移動に時間がかかる」が 62.1%、「駐車場・ガソリン代が高い」が 57.7%と共に半数以上の人が指摘していた。また、「運転が危険と感じている」9.6%、「景色等が楽しめて快適」7.6%等の回答もあった。

また、「その他」の意見として、路線バス等の「定時制がない」「満員などの混雑」「坂が多い」などの意見があった。

移動に際し感じていること n=343

性別	人数	比率
渋滞で移動に時間がかかる	213	62.1%
駐車場・ガソリン代が高い	198	57.7%
運転が危険と感じている	33	9.6%
景色等を楽しめて快適	26	7.6%
運賃が高い	13	3.8%
体力が必要	13	3.8%
乗り換えに手間がかかる	6	1.7%
読書・スマホ等を楽しむ時間がとれる	6	1.7%
その他	7	2.0%

2)渋滞に関する印象

渋滞に関する印象に関しては、「移動に時間がかかり疲れた・行くのが嫌になった」が 60.6%、「渋滞に巻き込まれないように時間をずらしている」が 44.6%と最も多く、次いで「自動車の運転で危険なことがあった」が 21.6%と続いている。

また、その他の内容としては、「渋滞がきつい・イライラする」「渋滞時はバイクへ乗り換える」「近くにモノレールや鉄軌道があればよいが、路線バスは最終が早すぎる」等の意見が寄せられた。

渋滞の印象 n=343

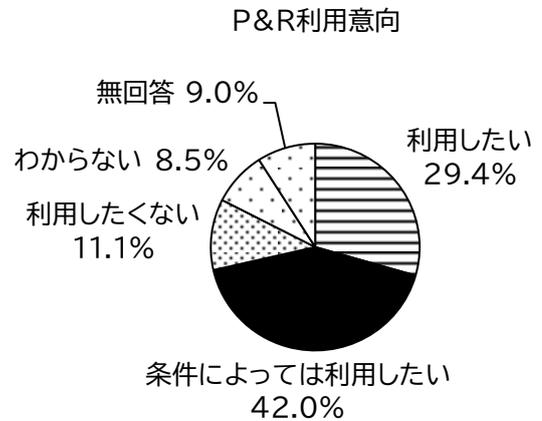
性別	人数	比率
移動に時間がかかり疲れた・行くのが嫌になった	208	60.6%
渋滞に巻き込まれないように時間をずらしている	153	44.6%
自動車の運転で危険なことがあった	74	21.6%
渋滞に慣れて何も感じない	29	8.5%
渋滞に入ったことがない	7	2.0%
その他	8	2.3%

(4)パーク&ライドに関する意向

1)パーク&ライドの利用意向

パーク&ライドの利用意向に関しては、「利用したい」と「条件によっては利用したい」の利用意向のある人は全体の71.4%に達している。一方、「利用したくない」は11.1%であった。

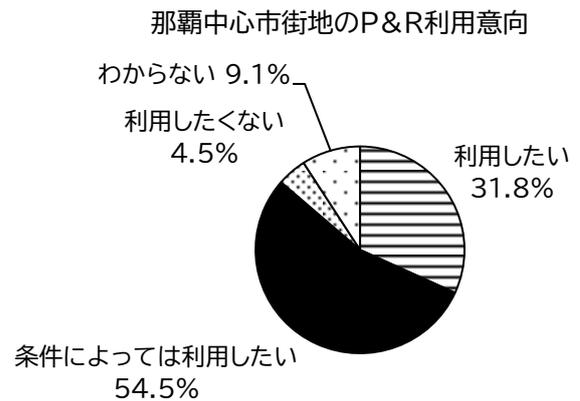
項目	人数	比率
利用したい	101	29.4%
条件によっては利用したい	144	42.0%
利用したくない	38	11.1%
わからない	29	8.5%
無回答	31	9.0%
計	343	100.0%



《那覇市(中心市街地)に移動する人のパーク&ライド利用意向》

那覇市(中心市街地)に移動する人22名にパーク&ライドの利用意向を聞いたところ「利用したい」「条件によっては利用したい」の利用意向がある人の合計が86.3%と全体より10ポイント以上高くなっている。一方、「利用したくない人」が4.5%と全体の半数以下となっている。

項目	人数	比率
利用したい	7	31.8%
条件によっては利用したい	12	54.5%
利用したくない	1	4.5%
わからない	2	9.1%
計	22	100.0%

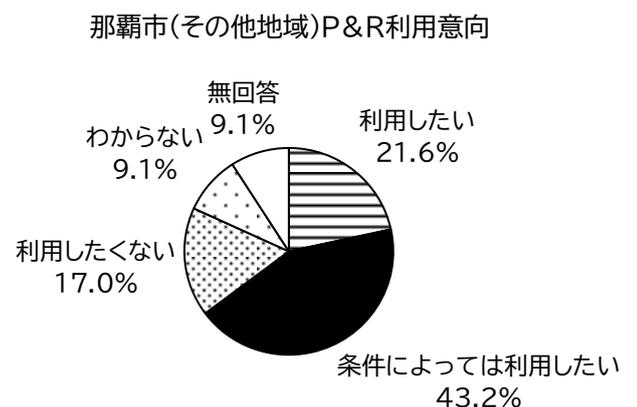


《那覇市(その他地域)に移動する人のパーク&ライド利用意向》

那覇市(その他地域)に移動する人88名のパーク&ライドの利用意向を抽出した結果、「利用したい」「条件によっては利用したい」の利用意向がある人の合計が64.8%と全体よりも低い傾向にある。

また、「利用したくない」も17.0%と全体より高い傾向にあった。

項目	人数	比率
利用したい	19	21.6%
条件によっては利用したい	38	43.2%
利用したくない	15	17.0%
わからない	8	9.1%
無回答	8	9.1%
計	88	100.0%



《豊見城市民のパーク&ライド利用意向》

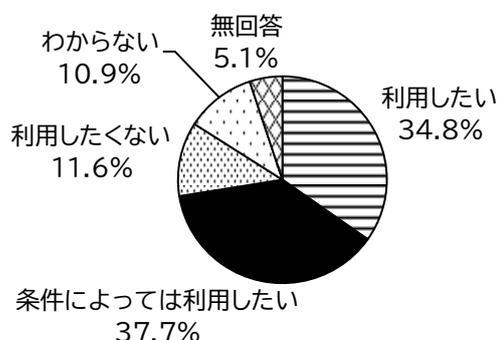
豊見城市民のパーク&ライド利用意向は「利用したい」「条件によっては利用したい」の利用意向がある人の合計が72.5%と全体と同程度である。

また、「利用したくない」も11.6%と全体と同程度である。

豊見城市民のP&R利用意向 n=138

項目	人数	比率
利用したい	48	34.8%
条件によっては利用したい	52	37.7%
利用したくない	16	11.6%
わからない	15	10.9%
無回答	7	5.1%
計	138	100.0%

豊見城市民のP&R利用意向



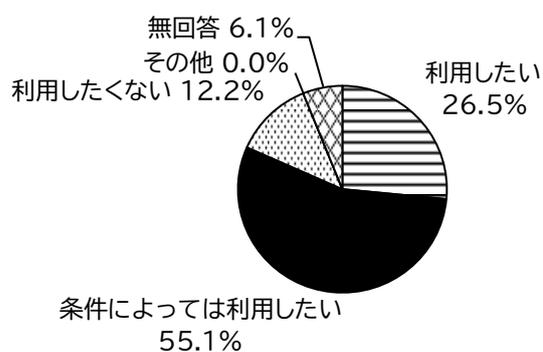
《糸満市民のパーク&ライド利用意向》

糸満市民のパーク&ライド利用意向は「利用したい」「条件によっては利用したい」の利用意向がある人の合計が81.6%と全体よりも10ポイント程度高くなっている。一方、「利用したくない人」が12.2%と全体よりもこちらもやや高くなっている。

糸満市民のP&R利用意向 n=49

項目	人数	比率
利用したい	13	26.5%
条件によっては利用したい	27	55.1%
利用したくない	6	12.2%
その他	0	0.0%
無回答	3	6.1%
計	49	100.0%

糸満市民のP&R利用意向



《移動目的別パーク&ライド利用意向》

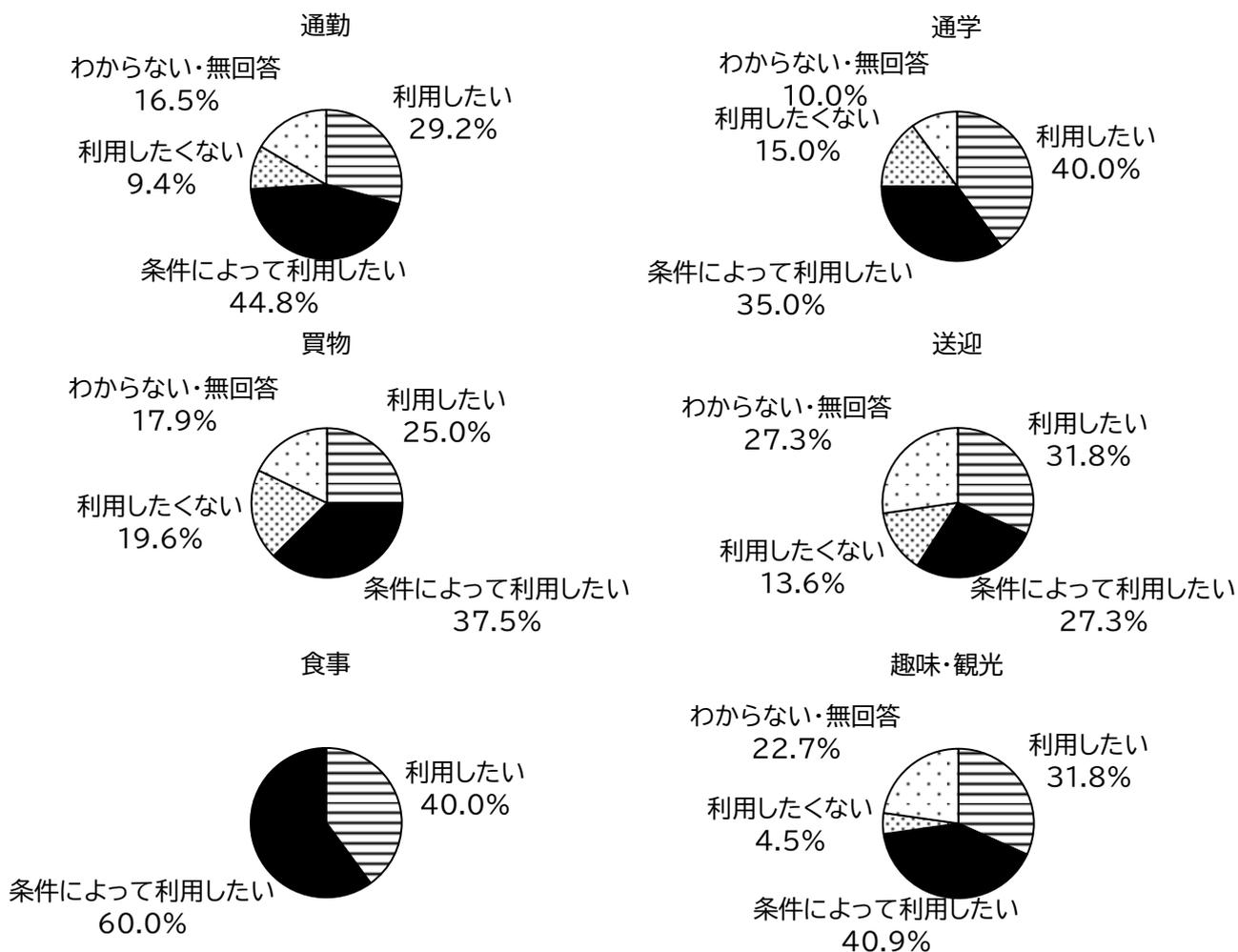
移動目的別では、「利用したい」「条件によっては利用したい」の利用意向がある人の合計について、「通勤」が74.0%、「通学」が75.0%、「趣味・観光」が72.7%と全体をやや上回っている。一方、「買物」が62.5%、「送迎」が59.1%と全体を下回っている。

利用意向(目的別クロス)

n=338

項目	利用したい	条件によって利用したい	利用したくない	わからない・無回答	計
通勤	62 29.2%	95 44.8%	20 9.4%	35 16.5%	212 100%
通学	8 40.0%	7 35.0%	3 15.0%	2 10.0%	20 100%
買物	14 25.0%	21 37.5%	11 19.6%	10 17.9%	56 100%
通院	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100%
送迎	7 31.8%	6 27.3%	3 13.6%	6 27.3%	22 100%
食事	2 40.0%	3 60.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 100%
趣味・観光	7 31.8%	9 40.9%	1 4.5%	5 22.7%	22 100%
計	100	142	38	58	338

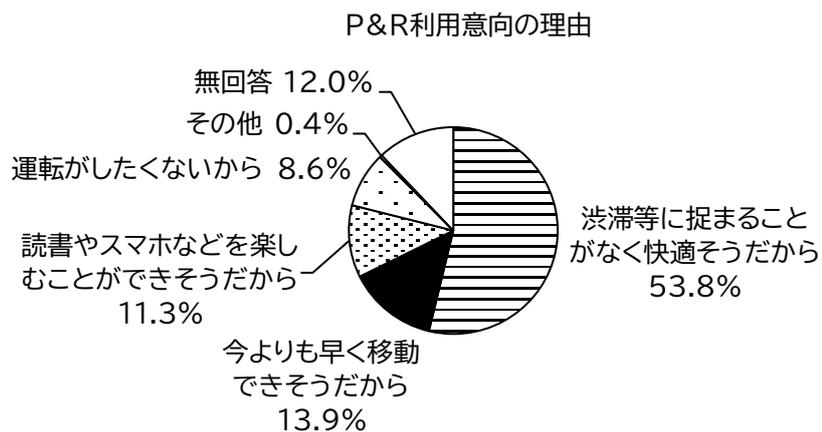
※移動目的が「その他」1件、「無回答」4件、計5件を除く。



2)パーク&ライド利用意向ありの理由

パーク&ライドを「利用したい」又は「条件によっては利用したい」と回答した利用意向のある人に対し、その理由を問うたところ、「渋滞等に捉まることがなく快適そうだから」が53.8%と最も多く、次いで「今よりも早く移動できそうだから」が 13.9%、「読書やスマホなどを楽しむことができそうだから」が 11.3%と続いている。

項目	人数	比率
渋滞等に捉まることがなく快適そうだから	143	53.8%
今よりも早く移動できそうだから	37	13.9%
読書やスマホなどを楽しむことができそうだから	30	11.3%
運転がしたくないから	23	8.6%
その他	1	0.4%
無回答	32	12.0%
計	266	100.0%

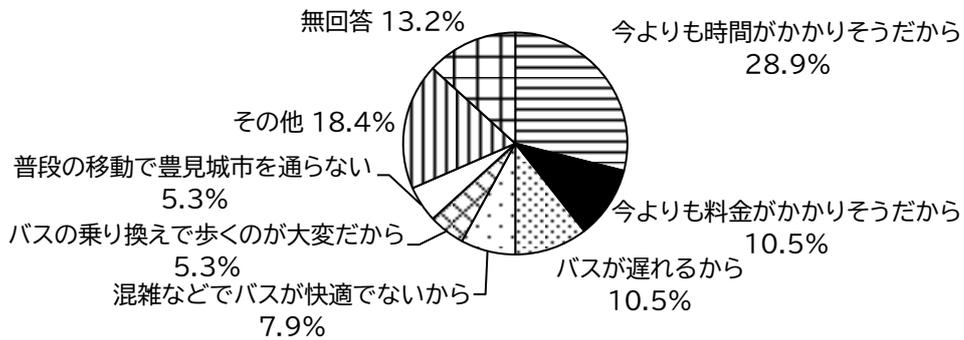


3)パーク&ライド利用意向なしの理由

パーク&ライドを「利用したくない」と回答した人に対して、その理由を問うたところ、「今よりも時間がかかりそうだから」が 28.9%、「今よりも料金がかかりそうだから」が 10.5%、「バスが遅れるから」が 10.5%となっていた。

P&Rを利用したくない理由		n=38	
項目	人数	比率	
今よりも時間がかかりそうだから	11	28.9%	
今よりも料金がかかりそうだから	4	10.5%	
バスが遅れるから	4	10.5%	
混雑などでバスが快適でないから	3	7.9%	
バスの乗り換えで歩くのが大変だから	2	5.3%	
普段の移動で豊見城市を通らない	2	5.3%	
その他	7	18.4%	
無回答	5	13.2%	
計	38	100.0%	

P&Rを利用したくない理由

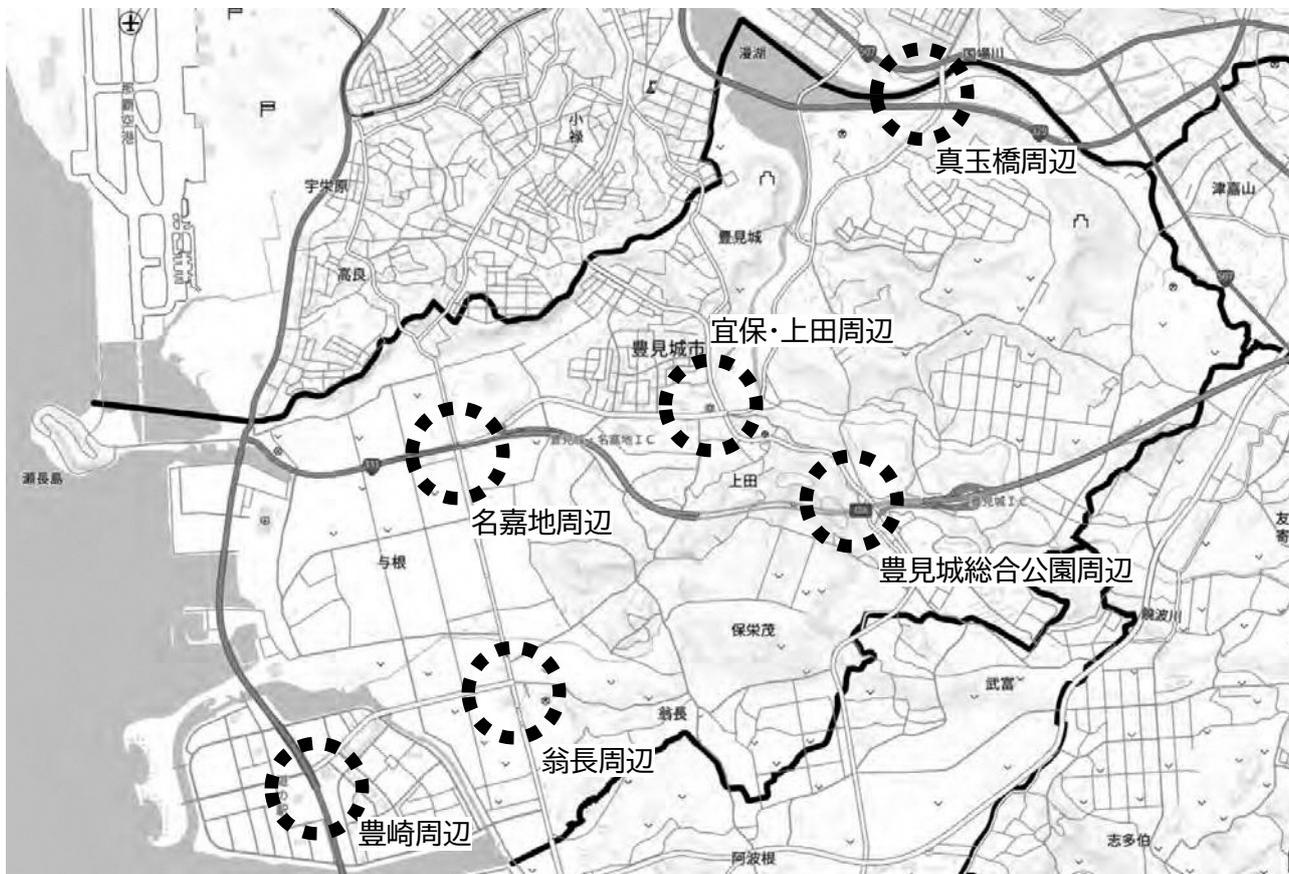
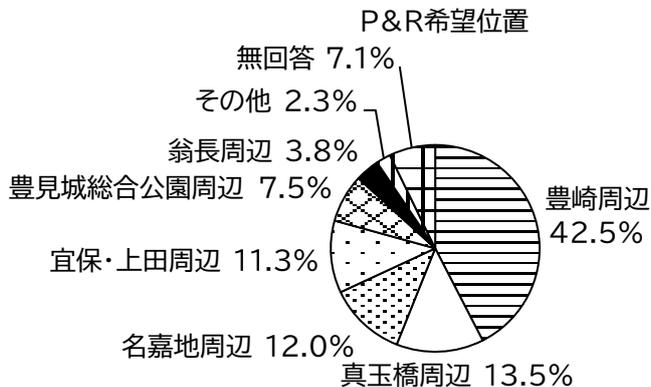


4)パーク&ライドを希望する位置

パーク&ライドを「利用したい」と回答した人 101 人、「条件によっては利用したい」と回答した人 144 人、「わからない」と回答した人のうち、利用条件を示した 21 人の計 266 人が希望するパーク&ライドの位置は、「豊崎周辺」が 42.5%と最も多く、次いで「真玉橋周辺」が 13.5%、「名嘉地周辺」が 12.0%、「宜保・上田周辺」が 11.3%と続いている。

また、その他の内容は、「那覇市」や「八重瀬町」を含む市外等が希望されている。

P&R希望位置		n=266	
項目	人数	比率	
豊崎周辺	113	42.5%	
真玉橋周辺	36	13.5%	
名嘉地周辺	32	12.0%	
宜保・上田周辺	30	11.3%	
豊見城総合公園周辺	20	7.5%	
翁長周辺	10	3.8%	
その他	6	2.3%	
無回答	19	7.1%	
計	266	100.0%	



パーク&ライドを希望位置

※基盤地図(国土地理院)を加工して作成

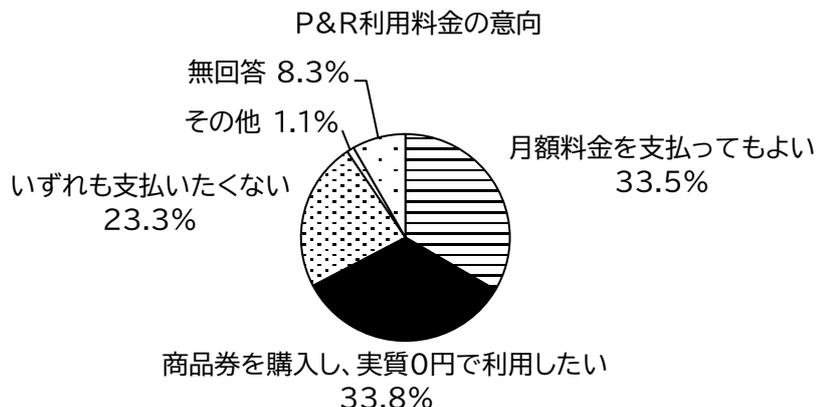
5)パーク＆ライドの利用料金に関する意向

パーク＆ライドを「利用したい」「条件によっては利用したい」「わからない」と回答した人のうち、利用条件を示した人に利用料金の支払い意思を確認したところ、「月額料金を支払ってもよい」33.5%、「商品券を購入し、実質0円で利用したい」が33.8%と合計67.3%が支払い意思を示した。

一方、「いずれも支払いたくない」は23.3%であった。

その他の内容について、「目的に応じ、利用した方が得になるようなら検討する。」「久茂地で1,500円/日で駐車しているため、P&Rの駐車場代+バス代がそれ以下であれば検討する。」等であった。

項目	人数	比率
月額料金を支払ってもよい	89	33.5%
商品券を購入し、実質0円で利用したい	90	33.8%
いずれも支払いたくない	62	23.3%
その他	3	1.1%
無回答	22	8.3%
計	266	100.0%

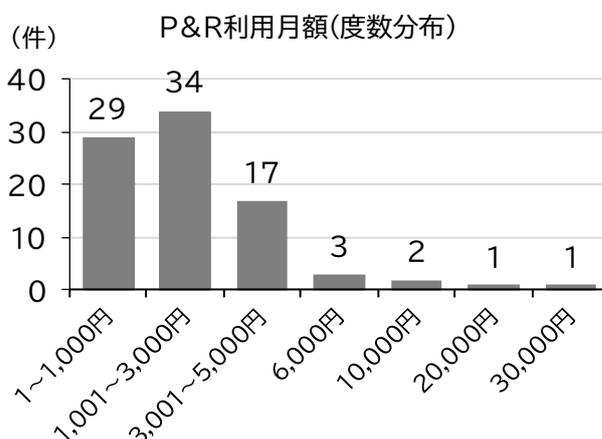


6)パーク＆ライドの月額料金

パーク＆ライドの利用料金として「月額料金を支払ってもよい」と回答した人にその金額を問うたところ、最高額30,000円、最低額500円、平均額3,306円、中央値・最頻値3,000円という結果となった。

度数分布によると大半は3,000円以下を希望し、5,000円を超える回答は、7名と少ない結果となっている。

項目	金額
最高額	30,000
最低額	500
平均額	3,306
中央値	3,000
最頻値	3,000



6)パーク&ライドの利用権付き商品券の月額料金

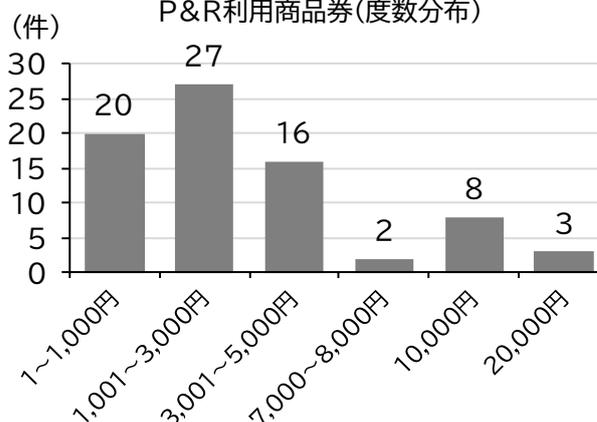
パーク&ライドの利用料に際し、利用権付き「商品券を購入し、実質 0 円で利用したい」と回答した人にその料金を確認したところ、最高額 20,000 円、最低額 300 円、平均額 4,221 円、中央値・最頻値 3,000 円という結果になった。

度数分布によると大半は 5,000 円以下を希望し、10,000 円との回答も 8 名(8.9%)いることから、「月額料金」として支払うよりも「商品券」方が価格感度が低いと考えられる。

P&R利用商品券 n=90

項目	金額
最高額	20,000
最低額	300
平均額	4,221
中央値	3,000
最頻値	3,000

P&R利用商品券(度数分布)



(5)バス利用に関する意向

1)バス利用を拡大するための取り組み

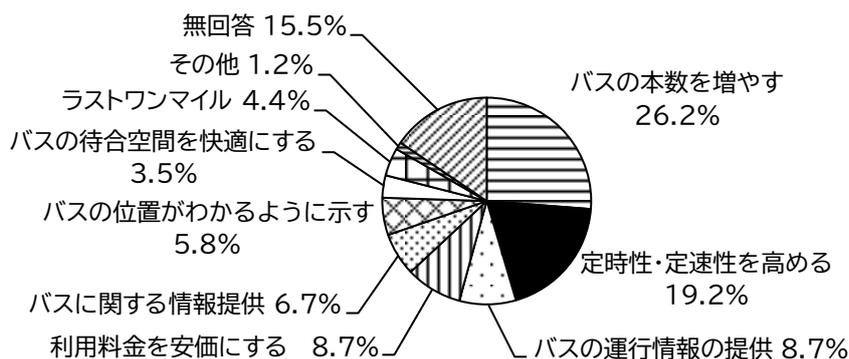
バス利用を拡大するためにどのような取り組みを行うべきか問うたところ、「バスの本数を増やす」が 26.2%、「定時性・定速性を高める」が 19.2%、「バスの運行情報の提供」が 8.7%、「利用料金を安価にする」が 8.7%、「バスに関する情報提供」が 6.7%、「バスの位置がわかるように示す」が 5.8%などの意見が寄せられた。

また、その他の内容は、「渋滞を緩和しないとバスの方が(遠まわりで)時間がかかる」「条例を整備してノーマイカーデーを設定し、所定の曜日に車を利用する場合、利用料金を高額に設定する」などの意見が寄せられた。

バス利用拡大の取り組み n=343

項目	人数	比率
バスの本数を増やす	90	26.2%
定時性・定速性を高める	66	19.2%
バスの運行情報の提供	30	8.7%
利用料金を安価にする	30	8.7%
バスに関する情報提供	23	6.7%
バスの位置がわかるように示す	20	5.8%
バスの待合空間を快適にする	12	3.5%
ラストワンマイル	15	4.4%
その他	4	1.2%
無回答	53	15.5%
計	343	100.0%

バス利用拡大の取り組み



(5)自由意見

性別	年齢	居住地	意見の内容
■路線バスの改善等に関する意見			
男性	50 歳代	糸満市	・ バスが定刻に運行しない。 ・ 他府県に比べてバス料金が安い。
男性	70 歳以上	豊見城市	・ 路線バスの定時性を高めてほしい。
女性	無回答	豊見城市	・ バスの運行時刻がルーズすぎる。 ・ 30 分以上待っても来ないことが多い。
女性	40 歳代	糸満市	・ バスの位置情報を明確に示してほしい。
女性	50 歳代	豊見城市	・ 首都圏や福岡県、京都府などのように路線バスなどの便利さを活用しないと渋滞も増え、利用者もますます少なくなるので、がんばってほしい。
男性	40 歳代	豊見城市	・ 豊崎方面のバスの本数を増加してほしい。 ・ 出来ればモノレールを延長してほしい。
男性	60 歳代	糸満市	・ 南部(特に豊見城、糸満方面)の路線バスが不便、各大学に至る路線や北谷等の直行便があるとよい。
男性	30 歳代	豊見城市	・ 豊見城中学校前のバスを増やしてほしい。 ・ 宜保回り(98 系統等)が多い。
女性	30 歳代	豊見城市	・ 家の前から 45 系統のみしかバスがなく、とても困っています。
女性	40 歳代	豊見城市	・ モノレールのようにバス料金を手頃にしてほしい。
女性	40 歳代	南風原町	・ 路線バスは便利だが、座れないため、体力的にきつい。 ・ シートを工夫してほしい。
■モノレールの延伸に関する意見			
男性	40 歳代	豊見城市	・ モノレールを糸満、豊崎方面に延伸することで渋滞が大きく減ると思います。
男性	40 歳代	豊見城市	・ モノレールの延伸を希望します。
女性	60 歳代	糸満市	・ モノレールを延伸してほしい。
■道路整備や都市計画のあり方に関する意見			
男性	40 歳代	豊見城市	・ 幹線道路を拡充してほしい。
女性	40 歳代	豊見城市	・ 公共交通機関の選択肢や本数が少なく、実質日常で使えるようなものではない。 ・ 仕方なく自動車を使っているのに、道幅や雑草など道路インフラ整備もまだ足りていない。 ・ 渋滞についても、いつも同じ場所で発生しているのに何十年もそのままであり、せっかくのコンパクトシティなのに勿体ないと長年思い続けています。
男性	70 歳以上	豊見城市	・ 交差点の滞留長を長くしてほしい。 ・ 左折車線・右接車線を増やしてほしい。
男性	50 歳代	豊見城市	・ 歩行者や自転車等の安全な専用走行レーンが多くあるとよい。
男性	40 歳代	豊見城市	・ 道路工事による交通渋滞が顕著になってきているので早期に完了し、従来の道路が利用できるようにしてほしい。

性別	年齢	居住地	意見の内容
男性	40 歳代	豊見城市	・ 工事期間が長い。
■ 普段利用する道路等、生活環境の改善に関する要望			
女性	40 歳代	豊見城市	・ 豊崎地域は信号機が少なく、運転していて危険だと感じる道路が多いので、早く信号機を設置して欲しい。 ・ 特に、豊崎中心部から夢咲橋に向かう道路は交通量が多く、観光客の車も多くて道に慣れてないドライバーも多いのに、信号機がないのでとても危険です。 ・ いつか事故が起きると心配している。
女性	40 歳代	豊見城市	・ 豊見城周辺の旧道(ゆたか小学校向け)の歩道の幅が狭く安全に登校できるようにしてほしい。 ・ 空手道会館近くに信号機を接置してほしい。
男性	無回答	豊見城市	・ 高安の道路整備をお願いします。
女性	30 歳代	那覇市	・ 那覇から名嘉地交差点にかけての渋滞を緩和してほしい。 ・ 数百メートル進むのに 30 分かかったことがある。
男性	30 歳代	那覇市	・ 名嘉地交差点付近がとても混むのでどうにかしてほしい。
男性	50 歳代	豊見城市	・ 名嘉地交差点の渋滞をどうにかしてほしい。
男性	無回答	豊見城市	・ 豊見城市役所前の渋滞を何とかしてほしい。
女性	30 歳代	那覇市	・ 高安の渋滞を緩和してほしい。
女性	無回答	豊見城市	・ 早く工事が終わってほしい
男性	40 歳代	那覇市	・ 道路の線が見えないので、整備してもらいたい。
■ その他の意見			
男性	40 歳代	南風原町	・ ライドシェアをやるにしろその目的をしっかりと説明するべきだと思う。 ・ 説明が足りない。 ・ 渋滞緩和よりも気候変動対策が重要だと思う。
男性	30 歳代	那覇市	・ 場所と日時によって、交通量に差があり、計画通りに移動できないことが多いため、時間にゆとりがある日にしか移動しようと思わない。
男性	20 歳代	県外	・ 景観をもっと良くするとよさそう。

4. 次年度の調査に向けて

(1) アンケートのバイアスと対応策の可能性

本アンケート調査は豊見城市主催イベントの会場において、その来場者に対してアンケートの協力を呼び掛けて、それに応じた回答者の意見を収集している。

実際には、アンケートを拒否する参加者が多い中、協力をいただいた回答者は、「豊見城市のまちづくりや社会貢献に協力したい」という意識の高い方多く、渋滞等の社会問題を解決したいという意向が少なからずあったと考えられる。このため、今回の調査で「パーク&ライドを利用したい」という意見が全体の7割を占めているが、これには少なからずバイアスが含まれていると考えられ、社会全体の意見をそのまま反映したものではない可能性がある。

近年、社会的に個人情報に対する意識が高まっているため、多くの人の警戒感が高まっており、郵送法等によるアンケートにおいても任意回答であれば同様にバイアスは排除しきれないと考えられる。

こうしたバイアスを排除するためには、一定の強制力を持ってアンケートを実施し、通常はアンケートに協力いただけないような方の意見も収集することが有効であり、一つの手法として、特定の企業・団体への協力依頼等が一つの手法として検討される。

(2) 具体的な条件の設定

本アンケート調査は、豊見城市民及び沖縄本島南部住民を主体とした、県民全体の利用の現状と意識を調査したものであり、パーク&ライドについて、具体的な条件を示していない。このため、利用意向のある回答者が7割を占めているが、回答者の多くは、「渋滞等に捉まらない・円滑に移動できる」ことを期待して、パーク&ライドを実施したいと回答しており、実際の利用条件と乖離していることが懸念される。

このため、次年度に向けた具体的な手法としては、パーク&ライドを実施する駐車場の設定や公共交通機関等と協議し、利用者が魅力を感じられるように具体的な条件を設定することが必要である。

(3) 課題の解決に向けた仮設の設定と直接的な調査対象・手法の検討

本アンケート調査は、豊見城市のイベント参加者から無作為抽出し、回答を依頼している。一方、豊見城市の交通における課題の一つとして、渋滞による経済損失等が発生しているが、その原因は那覇市(中心市街地)への人の移動が交通渋滞を引き起こし、さらにその周囲に影響を及ぼしている可能性がある。

今後、こうした課題に対する解決策を具体化するためには、原因を究明し、その解決に向けた施策を検討することが必要である。

仮に渋滞の要因が那覇市(中心市街地)への移動であるならば、その人たちに公共交通の利用を促すことが効果的である可能性があり、その目的を達成するためには現状の分析と各種施策による効果を具体的に調査することが必要である。

こうした意味において、本調査における那覇市(中心市街地)へ移動している回答者が22名(6.4%)であったということは十分に意見を集約したとは言えず、今後、同様の属性を持った人に選択的・直接的に調査を実施することが必要である。

(4) 実証事業の活用

今後、豊見城市の各種交通課題の解決に向けて、さまざまな施策を検討し、必要に応じて複数の施策を組み合わせることも必要になると考えられる。これらの施策は、本格的に取り組む前に必要なリソース(手間・コスト)と効果を把握し、効率的な予算執行を実現することが大切である。

こうしたリソースや効果は、本格的な運用前に実証実験を行って、期待される効果を上げることができるか、実証実験を行うことが有効であると考えられ、適切な時期に実証事件を実験することが必要である。